

プログラム

2026年4月25日（土）

■◀ ライブ配信あり ▶● オンデマンド配信あり

第1会場

開会式 ■◀▶

12:50-13:00

学術集会長講演 ■◀▶

13:00-14:00

座長： 桑田 美代子（医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 看護部）

声なき人の声をきく 重度から末期の緩和ケア

平原 佐斗司

東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック 地域連携型認知症疾患医療センター

メインシンポジウム1 ■◀▶

14:10-16:20

これが認知症の人の緩和ケア ～重度から末期の認知症の人の声を聴いていますか？～

座長： 西山 みどり（医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部）

佐藤 典子（順天堂東京江東高齢者医療センター 看護部）

MS1-1 その言動には理由（わけ）がある！

— BPSD を “ 冰山モデル ” で読み解く、認知症ケアの実践

井上 真一郎

新見公立大学 健康科学部 看護学科

MS1-2 急性期病院において認知症の人の小さなサインをとらえる

西村 知子

久留米大学病院 看護部

MS1-3 重度から末期の認知症の人の声をケアに繋げるチームアプローチ

— 認知症の人の豊かな最晩年を支えるために —

四垂 美保

医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 看護部

MS1-4 訪問看護における認知症の人の緩和ケアについて考える

田中 和子

深大寺元町訪問看護ステーション

MS1-5 情動の揺れに寄り添う：認知症を有する方へのリハビリテーション医療の新たな試み

阿瀬 寛幸

順天堂大学 医学部附属 順天堂東京江東高齢者医療センター、

順天堂大学 大学院 医学研究科 リハビリテーション医学

座長： 小川 朝生（国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科）

認知症の緩和ケアと臨床倫理

荻野 美恵子

東海大学医学部医療倫理学、東京大学大学院医療倫理学、
上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座

第 2 会場

認知症の人の家族の看取り経験から学ぶ

座長： 住井 明子（東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック 地域連携型認知症疾患医療センター）
生和 良子（東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとラウンジボランティア）

S1-1 認知症の人の家族の看取り経験から学ぶ

三橋 良博

公益社団法人 認知症の人と家族の会 神奈川県支部

S1-2 介護は丁寧に尽きる 認知症の妻を家で看取った夫の話 ～認知症と共に生きた 80 代ご夫婦の知恵に学ぶ～

中野 巖

東京ふれあい医療生活協同組合員

座長： 遠矢 純一郎（桜新町アーバンクリニック）

老年と認知症との暮らし

大井 玄

東京大学名誉教授

共催：公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団助成事業

座長： 川上 千春（浜松医科大学医学部 臨床看護学講座 [老年看護学]）

パーソン・センタード・ケアと認知症の人の緩和ケア

鈴木 みずえ

静岡県立大学 看護学部

Meeting

交流企画 しゃべり場 ■◀

17:00-18:00

ファシリテーター：西山みどり（医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部）
高山陽子（日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程）

2026年4月26日（日）

第1会場

優秀演題 ■◀▶

9:00-10:00

座長：鶴屋邦江（医療法人実風会 新生病院 看護部）
河野伸子（横須賀共済病院 看護部）

A-1 せん妄・行動心理症状を呈した高齢認知機能低下者への緩和ケア事例

河野里帆、齊藤隆一

山口県済生会豊浦病院 リハビリテーション科

A-2 せん妄・行動心理症状を呈した独居高齢者に対するおかえりプロジェクトと活動の質評価法（A-QOA）を用いた多職種連携介入

齊藤隆一¹⁾、河野里帆¹⁾、嶋野一成²⁾、佐々木裕子²⁾、松岡一子²⁾、西田征治³⁾、坂本千晶³⁾

1) 山口県済生会豊浦病院 リハビリテーション科、2) 山口県済生会豊浦病院 看護部、

3) 県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学コース

A-3 認知機能障害による BPSD のために身体拘束を要した高齢者への看護援助

高橋智広

武蔵村山病院 認知症疾患医療センター

A-4 外科的治療を拒否する認知機能低下患者への意思表示支援

—患者の価値観を多職種で共有し、納得した治療選択へ導いた認知症ケアチームの介入—
大沼順一

社会福祉法人 三井記念病院 看護部

A-5 ロールプレイによる学びを活かすせん妄スコアシート活用と転倒アクシデント予防

白鳥浩美

イムス横浜旭リハビリテーション病院 4階病棟

教育講演 2 ■◀▶

10:10-10:50

座長： 谷向 仁（名古屋市立大学大学院 看護学研究科）

認知症の意思決定 最近の動向

小川 朝生

国立がん研究センター東病院 精神腫瘍科

教育講演 3 ■◀▶

11:00-11:40

座長： 西山 みどり（医療法人甲風会 有馬温泉病院 看護部）

認知症の行動心理症状（BPSD）と環境：環境システム論に基づく緩和ケア

山田 律子

北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科

教育講演 4 ■◀▶

11:50-12:30

座長： 鈴木 みずえ（静岡県立大学 看護学部）

認知症の人の転倒と緩和ケア

征矢野 あや子

京都橘大学 看護学部

企業協賛セミナー ■◀

12:40-13:30

座長： 野澤 宗央（医療法人社団プラタナス 新桜町アーバンクリニック）

BPSD への早期治療介入に向けて

高瀬 義昌

医療法人社団至高会 たかせクリニック

共催：大塚製薬株式会社

教育講演 5 ■◀▶

13:40-14:20

座長： 平岩 千代子（最期まで身も心も縛られない暮らし・住まい研究会）

面会制限や身体拘束が認知症の人の緩和ケアに及ぼす影響：**認知症の母を介護し看取った脳科学者の視点から**

恩蔵 絢子

東京大学大学院 総合文化研究科

シンポジウム 2 ■◀▶

14:30-16:50

身体拘束はなくせるか？～新しい認知症観から考える身体拘束に頼らない環境づくりとケア実践～

座長： 平岩 千代子（最期まで身も心も縛られない暮らし・住まい研究会）

高山 陽子（日本看護協会 看護研修学校 認定看護師教育課程）

S2-1 身体拘束は組織そのものの姿—文化人類学の立場から

磯野 真穂

東京科学大学リベラルアーツ研究教育院

S2-2 縛らない看護を支える誇りと、家族としての無力感

～2つの立場の体験から～

和泉 美里

金沢大学附属病院 看護部管理室

S2-3 急性期病院における身体拘束最小化への挑戦と組織文化の転換

岡本 紀子

高知県立幡多けんみん病院 看護部

S2-4 リスクと技術から考える身体拘束廃止に向けたチーム活動 医師の立場から

金子 一明

市立大町総合病院 医療社会事業部

コメンテーター：

長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部)

恩蔵 絢子 (東京大学大学院 総合文化研究科)

閉会式 ■◀▶

17:00-17:10

第2会場

特別講演2 ■◀▶

9:00-9:50

座長： 平原 佐斗司 (東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック
地域連携型認知症疾患医療センター)

共生社会とコンパッション都市・コミュニティ

堀田 聡子

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

メインシンポジウム2 ■◀▶

10:00-12:20

コンパッションネットワークシティと認知症の人の緩和ケア～地域での実践例と実践者対談～

座長： 早川 景子 (チームたね)

大須賀 悠子 (医療法人社団フィーカ 関医院)

鈴木 敦秋 (ジャーナリスト、南医療生活協同組合 専務室企画)

MS2-1 若年性認知症の夫との暮らしから考える「緩和ケア」

多田 美佳

一般社団法人はるそら

MS2-2 地域における診断後の社会心理的支援

矢吹 知之

高知県立大学 社会福祉学部

MS2-3 私たちの本人の声と力を活かして、よりよい暮らしと地域を、ともに創ろう！

山中しのぶ

一般社団法人日本認知症本人ワーキンググループ (JDWG)

MS2-4 認知症とともに生きる町を目指して、現時点での取り組み

—おたがいさまの地域づくりから見えてきたもの—

松本 礼子

一般社団法人 D フレンズ町田

会員説明会

12:30-12:50

特別講演 3

13:00-14:00

座長： 日向 園恵 (一般社団法人 MADEENA 在宅看護センターまでえな)

桑田 美代子 (医療法人社団慶成会 青梅慶友病院 看護部)

認知症と緩和ケア —家族の終末期体験からの問題提起—

樋口 直美

文筆家、レビー小体病当事者

教育講演 6

14:10-14:50

座長： 内田 直樹 (医療法人すずらん会 たろうクリニック)

認知症とセルフネグレクト—いわゆる「ごみ屋敷」を通してみる老年期の社会的孤立

井藤 佳恵

東京都健康長寿医療センター研究所 福祉と生活ケア研究チーム

シンポジウム 3

15:00-17:10

BPSD と複雑な課題を抱える事例に地域でどう向き合うか～支援の実践とこれからの展望～

座長： 遠矢 純一郎 (桜新町アーバンクリニック)

中西 三春 (国立大学法人東北大学 医学系研究科 精神看護学分野)

S3-1 BPSD と地域でどう向き合うか～当院の来し方を振り返って～

大澤 誠

医療法人あづま会 大井戸診療所

S3-2 「緩和急題」～認知症急性期病棟における MHSW の視点と実践から～

瀬在 友貴恵

医療法人社団翠会 陽和病院 社会療法部 相談心理室

S3-3 グループホームにおける「穏やかな生活」の実現
～役割の再提供とケアを実現する環境調整による BPSD へのアプローチ～
井出 常幸
社会福祉法人さかい福祉会 グループホーム銀杏の丘

S3-4 東京都北区における認知症疾患医療センターの実践報告
住井 明子、中塚 智子、武安 眞珠、平原 佐斗司
東京ふれあい医療生活協同組合 オレンジほっとクリニック 地域連携型認知症疾患医療センター

Meeting

一般演題 1 「在宅外来など」

10:10-11:10

座長： 鈴木 千春（愛知医科大学病院 入退院支援センター・がん相談）

01-1 訪問診療に同行している看護師と院内認知症ケアチームとの連携
～継続した生活を送るための看護実践～
後藤 俊介、梅木 倫子
嶋田病院 看護部

01-2 在宅認知症介護における看取り過程で家族が経験する曖昧な喪失と悲嘆
増田 多加子
東京薬科大学 薬学部 薬学実務実習教育センター

01-3 認知症治療薬「レカネマブ」の投与に伴う葛藤に対する患者と家族への心理的支援を軸とした多職種介入の試み（第2報）
内菌 麻紀、岡山 悟志、市橋 恒男、川上 歩、永松 和彦、吉田 佳代、八尾 あすか、森川 沢美
奈良県西和医療センター

01-4 認知症高齢者の「家にいたい」を支援するということの一考察
関 美佐、小澤 愛
株式会社 GCI 訪問看護ステーション芍薬

01-5 もの忘れ外来初回診察における事前電話問診の実践
～全人的視点に基づく援助的コミュニケーションのアプローチ～
大塚 美智子¹⁾、浅野 直²⁾、大原 恵美¹⁾、渡辺 美穂¹⁾、浅野 奈緒美³⁾
1) あさのクリニック 看護部、2) あさのクリニック 医師、3) あさのクリニック 総務

一般演題 2 「病棟中心」

11:20-12:20

座長： 木野 美和子（筑波メディカルセンター 看護部）

02-1 取り下げ

02-2 認知症の人における誤嚥性肺炎の illness trajectory の中で再考された治療のあり方

佐藤 美紀¹⁾、藤井 洋一¹⁾、久野 成美²⁾、寒風澤 あい里²⁾

1) 地域医療振興協会 練馬光が丘病院 総合救急診療科 総合診療部門、

2) 地域医療振興協会 練馬光が丘病院 看護部

02-3 認知症者の病状悪化予防に向けた取り組み

鈴木 桂子

八千代リハビリテーション病院

02-4 急性期病院における身体的拘束最小化の取り組み

～訪問型アクティビティケア（音楽体操）の効果～



田原 さとみ

益田赤十字病院 4 階西病棟

02-5 二次救急病院における認知症の人の身体的苦痛に着目した緩和ケア実践

子々津 久美

医療法人 荻窪病院 看護管理室

一般演題 3 「その他」  

12:30-13:40

座長： 立原 怜（島根県立中央病院 入退院支援・地域医療連携センター）

03-1 認知機能が低下した高齢者が骨折後も自宅で生活するための支援：

円滑な自宅退院に至った事例から

白見 史恵¹⁾、白見 拓真²⁾

1) 日本赤十字看護大学 看護学部、2) 船橋市立医療センター

03-2 医療処置の中止を希望した終末期にある高齢患者へのかかわり

松下 幸平、大石 真美子、鍋島 美紀

聖隷淡路病院 4 階棟

03-3 「施設入居中の認知症高齢者への創傷ケアに対する困難感を抱く看護師への実践報告」

坂井 ひろみ

訪問看護リハビリステーション喜りがおか

03-4 臍胸手術を受ける認知症患者の意思決定支援

～「やらない」という言葉の背景を支える～

島田 菜々、大久保 みすず、櫻木 結実子

順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター

03-5 レビー小体型認知症をもつ女性のスピリチュアルペイン

一手記の質的内容分析を通して

藤原 陶子、西村 恵理奈

聖路加国際大学 看護学部 看護学科

03-6 認知症をもつがん患者に対する疼痛評価：日本語版 DOLOPLUS-2 活用上の課題

天沼 亜由未

横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院 看護部